

ロールプレイ

ロールプレイとは**ロール（役割）、プレイ（演技）、日本語で言うと（役割演技）**という意味です。話し手 聴き手の役割をそれぞれ演じる形で行われます。その演技は 通常他の人が見ている前で行います。

話し手 用意されたシナリオにしたがい、自分以外の人に なり切ります。

聴き手 聴き手は 話し手の話を 傾聴の姿勢で聞くことが重要。
聴き手は受容的、共感的に聴き、丸ごと受け止めながら会話を進める。

観察者 二人の演技を見ている人は観察者（オブザーバー）としての役割がある。

一つのロールプレイが終わった後

- ① 聴き手が傾聴的に上手く聴けたかどうか 自分自身の感想を言います。
- ② 観察者はそのロールプレイについて、感想を述べる。
特に聴き手について良かった点や気になった点など 伝えます。これを
フィードバック（振り返り）と言います。
- ③ 話し手が聴き手に聴いてもらった感想を言います。

そこで出された意見は、参加者全員にとって 傾聴についての 学びになっていくのです。

1. 進行系の重要さは傾聴技術の標準化を行うことである。

ロールプレイの聴き手の聴き方に関し、A観察者から所見が発表された際に、その他の所見が無いかを聞き、他の観察者がBという所見を発表した場合、A、B何れが傾聴的観点からより適切か、皆で意見を出し合って、最大公約数の傾聴聴テクニックを、出席者全員で共有すれば、聴く会としては、テクニックの標準化ができ、大きな成果となる。

今回は、この点が欠落していたので、一つは聴き手の目線（原則は、話し手の目線に合わせることである。初めて訪問し話し手に近づく場合も含む）二つ目は聴き手が「話し合いをしましょう」と発言に関して、どれくらいの人が気付いていたか調べる。三つ目は聴き手のほめ過ぎの所見があったが、独居で生活する高齢者、家庭内暴力を受け嘆く人を褒め言葉で激励する効用がある。むしろ一般的に褒めることが少ない傾向にあると考える。（月刊誌10月号P27～

2. 「聴き手」は話し手の流れに沿って演ずることが重要

今回話し手が重要な気付きの山場で重要な項目を話さなかったにも拘らず、聴き手が流れを遡って言葉を継いだため、観察者は混乱してしまった。（聴き手の大きなミス）

3. 「話し手」はシナリオの主人公

自分の発言内容のみをメモするだけでなく発言項目の行間に、聴き手の質問および発言趣旨を簡単にメモする。シナリオの流れに抜けを作らないよう配慮する。

出来れば、メモを読むのではなく自己の発言内容の流れを二人の対話として記憶するように努め演じて頂くと大変に助かる。

4. 観察者の発言内容

殆どの方が、聴き手の良い点を先ず述べ、次いで所見を述べておりました。全く発言しなかった人もおられました。その他、自分は普段は、このようにしているが、と疑問をする方もいなかった。他の人の所見が二つ、三つ出た場合には、自分はどの所見がより妥当だと思う等、積極的に発言すれば、一層勉強会らしい雰囲気学びが多くなることと思われまます。

以上

わが会初めてのテーマの勉強会に参加し、協力頂き感謝申し上げます。